

インフラ技術者と 私のキャリアドリフト

Rebuild キャリアノート

伊藤洋也 @hiboma / GMO PEPABO inc.

2021.10.29 Infra Study 2nd #6

GMOペパボ

GMOペパボ セキュリティ対策室

伊藤 洋也

いとうひろや (@hiboma)

2007年に株式会社paperboy&co. (現GMOペパボ株式会社)に入社
ホスティング事業、技術基盤開発、新卒研修を経て、現在セキュリティ対策室所属
プリンシパル・エンジニアです

- Twitter / GitHub : @hiboma
- 1982年生まれ 岩手生まれ
- 現在: 栃木県那須塩原市在住



<https://hiboma.hatenadiary.jp/> ブログを書いています

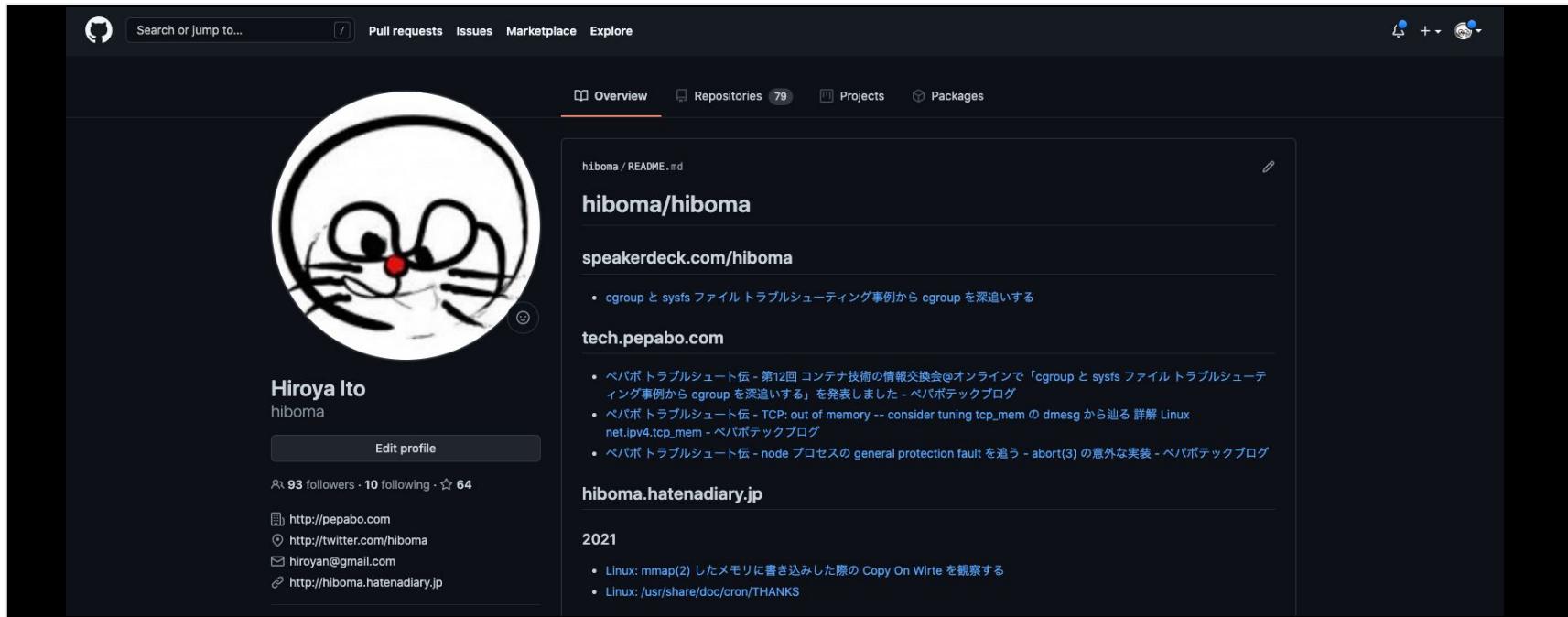


2021-10-19

SREcon21: Brent Chapman さんの発表 『Evolution of Incident Management at Slack』で インシデントマネジメントを学ぶ

<https://github.com/hiboma/hiboma>

カーネル・ミドルウェア・ライブラリのトラブルシュートやソースを調べたりの技術文章リポジトリ。なぜか人気 



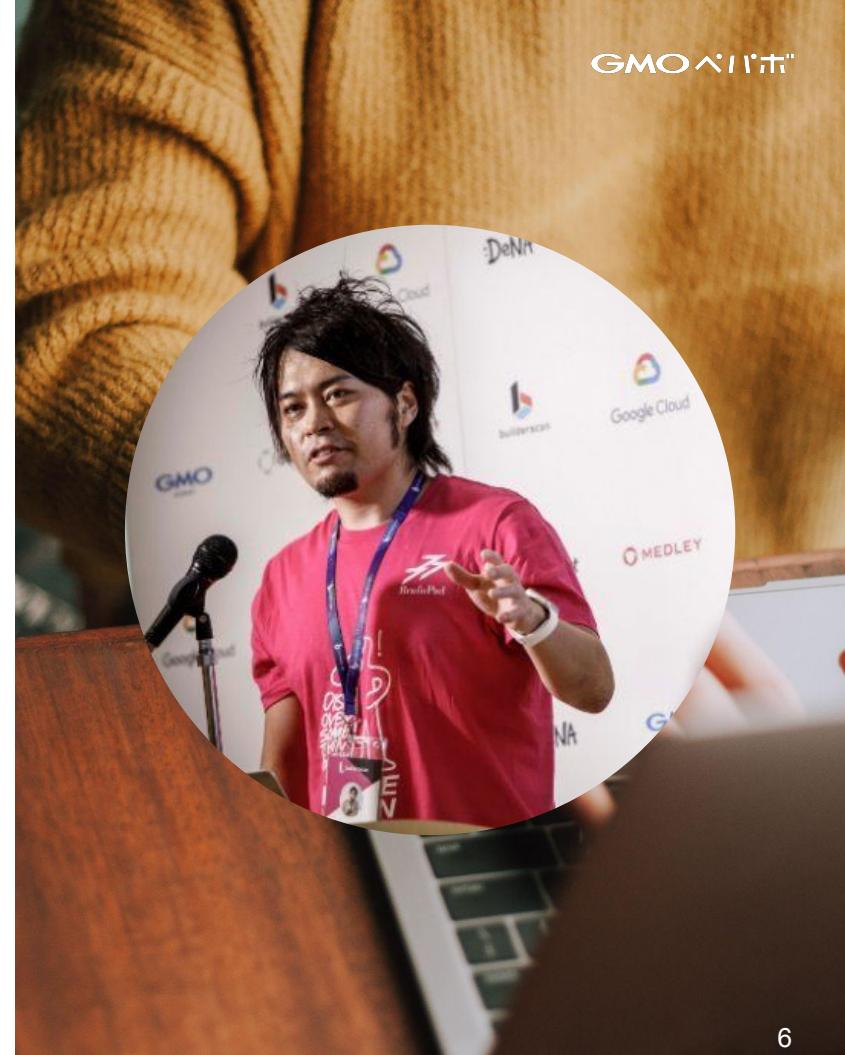
The screenshot shows the GitHub profile page for the repository `hiboma/hiboma`. The profile picture is a white circle containing a black and white cartoon mouse with a red dot on its nose. The user's name is **Hiroya Ito** and the handle is `hiboma`. Below the profile picture is a button labeled "Edit profile". The stats show 93 followers, 10 following, and 64 stars. The bio includes links to `speakerdeck.com/hiboma`, `tech.pepabo.com`, and `hiboma.hatenadiary.jp`. The "Overview" tab is selected, showing 79 repositories, 0 projects, and 0 packages. The "Repositories" section lists `hiboma / README.md` and `hiboma / hiboma`. The "hiboma / hiboma" section contains a list of blog posts from `tech.pepabo.com` and `hiboma.hatenadiary.jp`, including topics like cgroup, sysfs, TCP memory management, and node.js general protection faults.

イントロダクション

@pyama さん 紹介ありがとうございます

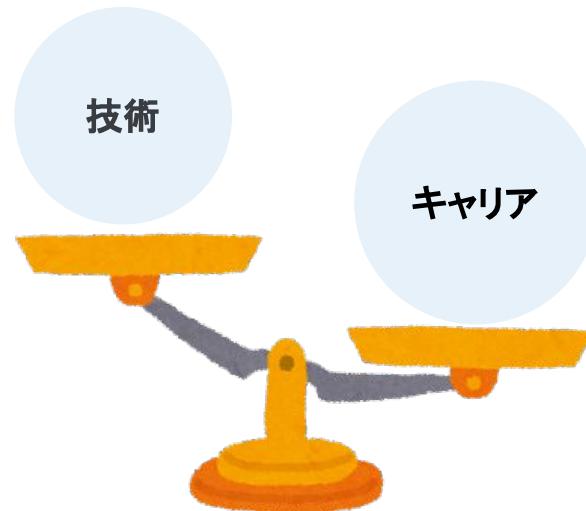
GMOペパボ

"最後に、@hibomaさんはP山の同僚であり、Linuxの低レイヤーのトラブルシュートから、WebAPIの開発、メンバーのメンタリングなど幅広い領域を、書籍などを通じた体系的な学習や、これまでの経験からとても高いレベルで日々実践しているエンジニアです。社外から見える情報としては hiboma/hiboma というリポジトリや、氏のブログを見ていただくとして、ペパボの社内においては端的に言うと、とても美しいコードを書き、多くのテストケースを実装するプログラマであり、一見原因がわからないような障害、たとえば VMのレイヤーで起きる、カーネルパニックも再現コードを見つけ出し、確実に仕留める、そういうエンジニアです。もっと @hiboma を皆さんに知ってほしい、そんな思い半分、これまでのキャリアについて改めてお聞きしたく声をかけました。



しかし、20分でキャリアを語るのは難しい。いろいろ考えた上で、技術よりもキャリアよりのテーマとしています。

キャリア = 私の個人史をただ話すのではなく一般化・抽象化を添えて、みなさんにも studyしてほしい構成で考えてきました。



COVID-19 と種々の変化

COVID-19 は様々な変化をひき起こしました。
あるいは何も変化しなかった方もいらっしゃるでしょうか？

社会の変化

生活の変化

仕事の変化

企業情報 ニュース サービス 株主・投資家情報 サステナビリティ 採用情報

JP / EN サイト内検索

ホーム > ニュース > プレスリリース > GMOペパボ、全社でテレワークを基本とする勤務体制へ移行～withコロナ時代における経営スタイル「新しいビジネス様式 byGMO」に基づき多様な働き方に対応～

2020.06.01 ブレスリリース GMOペパボ

GMOペパボ、全社でテレワークを基本とする勤務体制へ移行～withコロナ時代における経営スタイル「新しいビジネス様式 byGMO」に基づき多様な働き方に対応～

シェア 810 ツイート BI

GMOインターネットグループのGMOペパボ株式会社(代表取締役社長:佐藤 健太郎 以下、GMOペパボ)は、本日2020年6月1日(月)より、全パートナー(従業員)を対象に、テレワークを基本とした勤務体制へと移行いたします。

これは、GMOインターネットグループが進めるwithコロナ時代における経営スタイル「[新しいビジネス様式 byGMO](#)」(※1)のもと、グループ各社が導入を順次進めているテレワーク制度(※2)に則り、独自に実施するものです。

GMOペパボのパートナーは、今後、生産性や効率を重視しながら、自身のライフスタイルに合わせた自律的な働き方として、在宅・シェアオフィスなどでの勤務が可能なテレワークを基本とし、業務内容など必要に応じて出社する勤務形態となります。

今後もGMOペパボは、世の中の状況の変化に柔軟に対応するとともに、パートナーの多様な働き方を実現するため、制度の充実や仕組みの構築を行ってまいります。

(※1)GMOインターネットグループが策定した、新型コロナウイルスの感染防止と持続的な経済活動・企業活動の両立を目指す、新しい経営スタイル。

(※2)テレワークの実施頻度・日数は、GMOインターネットグループ各社によって異なります。

[@pepaboさんをフォロー](#)

RSSを購読する

カテゴリー

- プレスリリース⁵⁴⁷
- お知らせ²⁹⁵
- 掲載情報³⁸³
- 講演・出演情報²⁷⁸
- 主催イベント情報⁸³

サービス別

- ロリポップ!¹¹⁶
- ヘテムル³⁷
- ムームードメイン³⁵
- 30daysAlbum²³
- ブチ¹⁰
- Sqale³
- ロリポタッヂ²
- PEPABO WiMAX¹
- カラーミーショップ¹⁹⁹
- カラーミーリピート¹¹
- カラメル³¹

2020年9月

東京練馬区 -> 栃木県那須塩原市に引越ししてリモートワーク



生活の変化

“キャリアドリフト”

…(略)自分のキャリアについて大きな方向づけさえできていれば、人生の節目ごとに次のステップをしっかりとデザインするだけでいい、節目と節目の間は 偶然の出会い いや予期せぬ出来事をチャンスとして柔軟に受け止めるために、あえて状況に“流されるまま”でいることも必要だという考え方を言います。ドリフト(drift)とは「漂流する」という意味。

キャリアドリフト(漂流)のイメージ



コンテナ船がこんなに壊されたら事故るやろ～

専門書では、語源にならってキャリアドリフトを「馬車の轍(だち)の軌跡」での例えが多い

画像: https://www.irasutoya.com/2015/07/blog-post_203.html

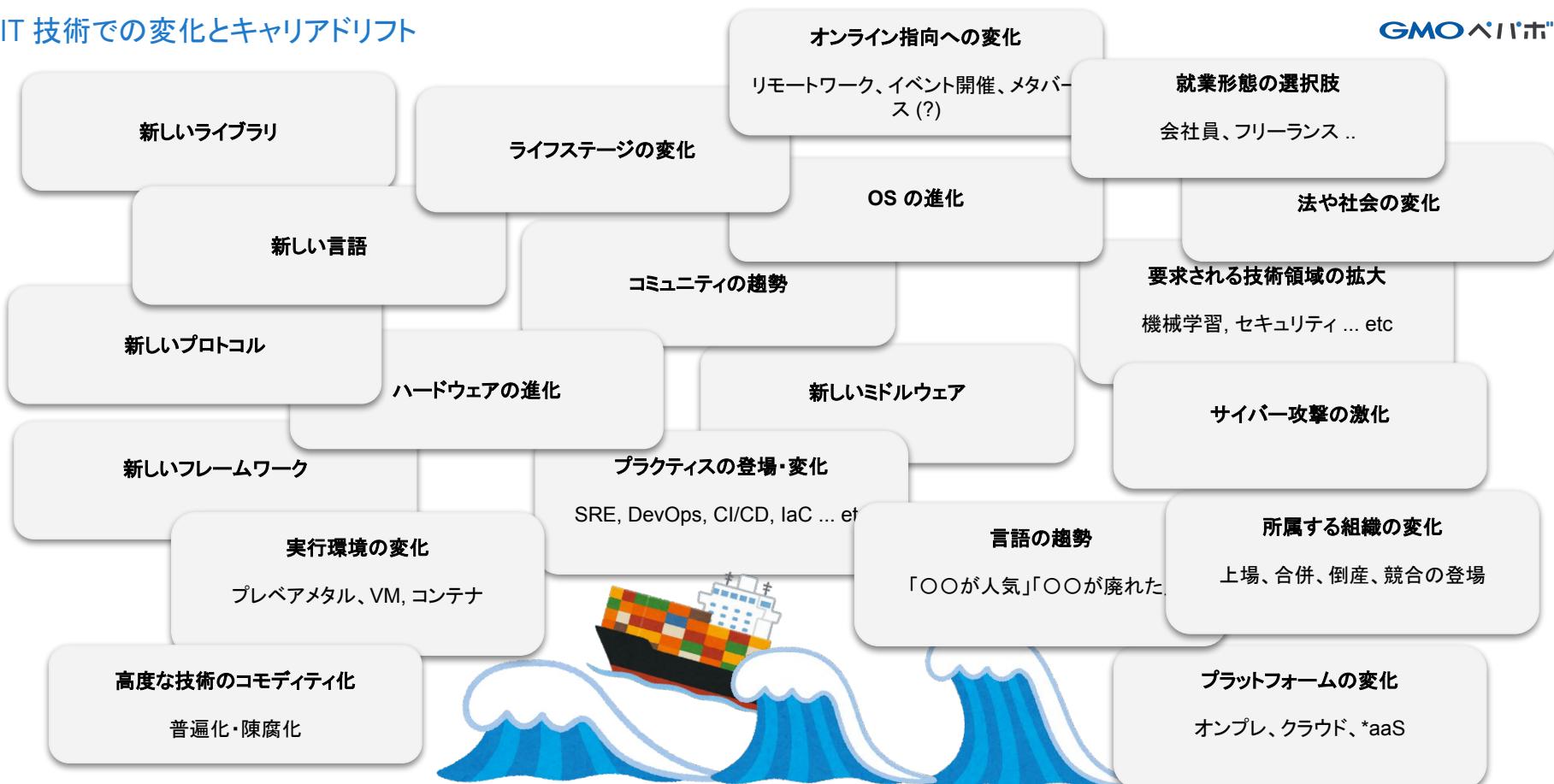
COVID-19 の話を持ち出してキャリアドリフトの概念を紹介しました
ここからは、<インフラ技術>にスコープを絞って本題に入っていく



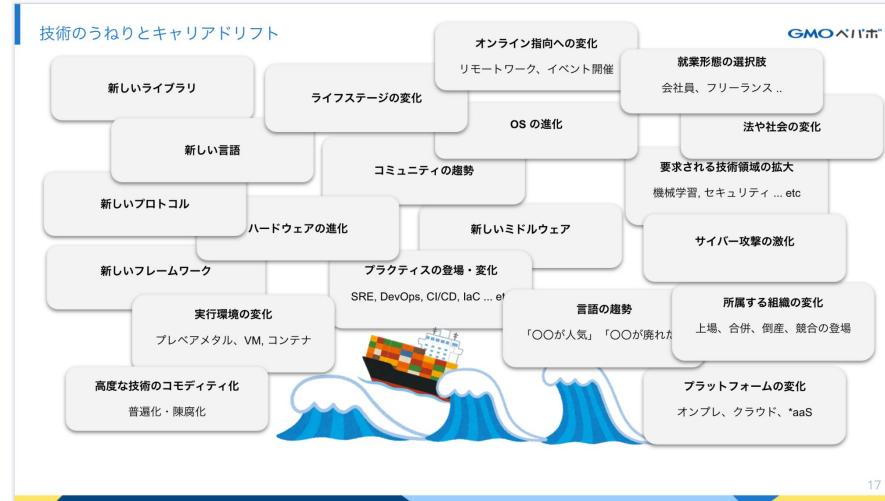
社会の変化

生活の変化

仕事の変化
<インフラ技術>



(インフラ) 技術を運用していると極力「変化」を避けたくなる。しかしながら、技術の潮流に乗り限られた時間で、自身も変化に対応していかないといけない。とはいっても、変化の波に飲み込まれてもいい



技術の流れに乗りつつ、キャリアが意図せぬ方向に漂流しないよう 自らの強み・よりどころをどう構築していくか？

“キャリアアンカー”

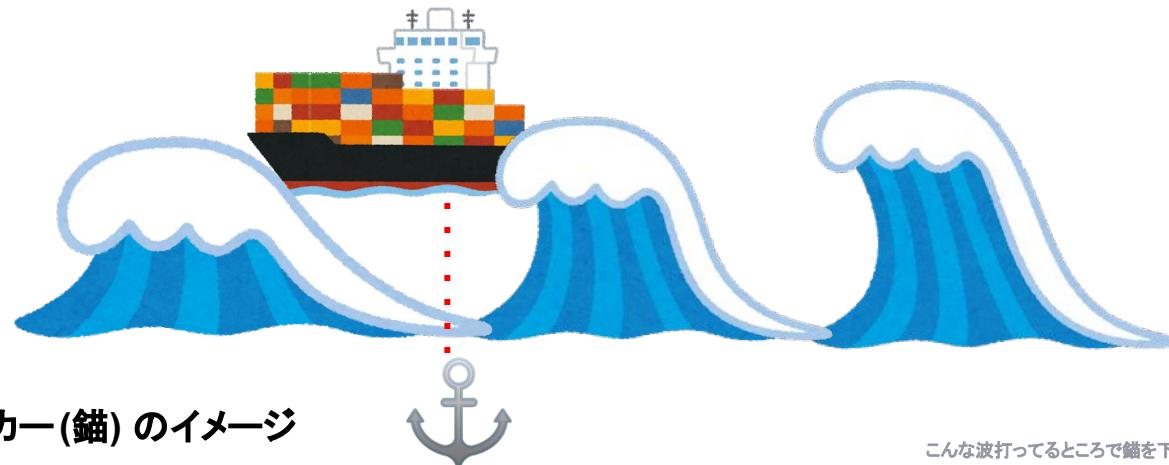
個人がキャリアを選択する際に、自分にとって最も大切で、これだけはどうしても犠牲にできないという価値観や欲求、動機、能力などを指します。

船の“錨”(アンカー: Anchor)のように、職業人生の舵取りのよりどころとなるキャリア・アンカーは、一度形成されると変化しにくく、生涯にわたってその人の重要な意思決定に影響を与え続けるとされています。

技術者であれば、自らの強みや得意としている何かしらの技術の領域、モチベーション、気持ちがあるだろう

「〇〇 の技術が好き」「△△のレイヤが得意です」「□□ 領域だけは負けたくない」

きっとそれが あなたのキャリアアンカーなのだろう



キャリアアンカー(錨) のイメージ

こんな波打ってるところで錨を下ろさないですよね..?

外的キャリア・内的キャリア

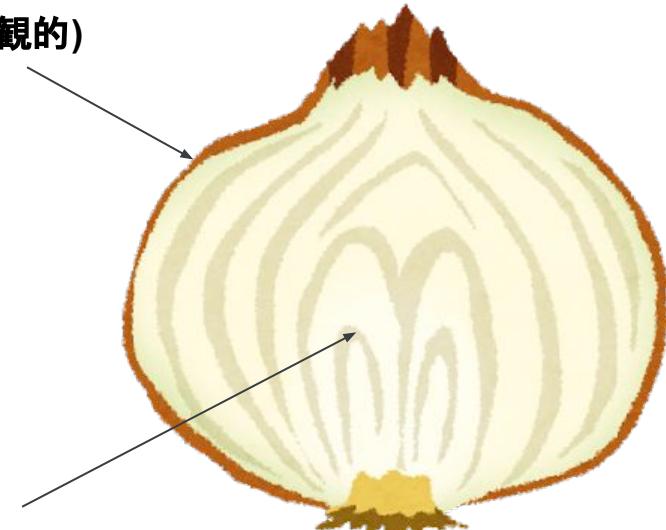
“外的キャリア”

職種・職位・技能・実績・報酬など 客観的に把握できる職業上の経歴

“ 内的キャリア ”

なぜ働くのか、何のために働くのか、なぜその仕事をしたいのかなど、仕事や働き方
に対する個人の主観的な評価や認識

外的キャリア (客観的)



内的キャリア (主観的)

自己開示 = 他者の認知に「語り」が必要

引用: [エンジニア・研究者が再びプロモーラーを目指す - 「好きなこと」を持続的な事業にするために考えたこと【寄稿:まつもとりー】 | アンドエンジニア

“心身を削りプログラミングと研究に励む 10年を経て、わたしにも転機が訪れました。現在の職場である、さくらインターネット研究所に転職し、比較的ゆっくりとマイペースに研究に取り組める環境を得たのです。いくらか時間に余裕ができ、改めて「自分の幸せはなにか？仕事ってなんなんだろうか？」と考えるようになっていったのです。”

出典: <https://and-engineer.com/articles/YRHyTRAACIAxac->



この記事をシェア

Twitter Facebook

LINE Hatena

アンドエンジニアの公式LINEができました！
ピックアップ記事や立派な情報が届きます！

友だち追加

福集部おすすめコンテンツ

エンジニア・研究者が再びプロモーラーを目指す - 「好きなこと」を持続的な事業にするために考えたこと【寄稿:まつもとりー】

2021.09.01 松本亮介 (まつもとりー)

この記事でわかること

- ✓ エンジニアリングや研究で培ったスキルを他の分野で活用すること。
- ✓ 遊泳と仕事を并列のものにし、人生を楽しむこと。
- ✓ まつもとりーさんのプロモーション法。

2020.08.30 Adobe作品を終わらせるデザイナー? 「ビジネスロードマップ」を考える、自己満足で終わらないWebデザインとは 三島

2020.08.30 ピックアップデーターなるか? カンファレンスの運営「ウェブの手帳」 田中

2020.08.30 「プロダクション」で問題解決できる子供を増やしたい 田中

こんにちは。松本亮介と申します。インターネットやSNS上では「まつもとりー」と呼ばれることが多いです。

わたしは、インターネットやWebサービスの基礎技術に関するエンジニアを経て、現在はインターネット基礎技術について研究をしている研究者です。また、複数の企業において、事業組織の改善や事業・プロジェクトマネージメント、技術的課題、技術フレームワークなどに関するアドバイス活動・技術顧問として取り組んでいます。これまでの実績は、[松本亮介 \(まつもとりー\) の研究・開発業績ページ](#)に記載しています。

そんなんわたしは、本稿でテーマとするのは「プロモーション制作」です。エンジニアリングでも、インженерингでもなく、プロモーション。この時点で頭の中にはなにマークが出ている読者いることでしょう。実はわたしは、2018年ごろより、かなりのリソースをプロモーション制作に投注してきました。本稿ではなぜかがプロモーションに傾注するのか、その理由、経緯、思ひなどをお伝えしていこうと思います。いたって本気で本稿を書いておりますが、まずは面白半分に読んでいただければと思います。

実はこの写真は我的作業場です。



キャリアアンカー・内的キャリア の 可観測性

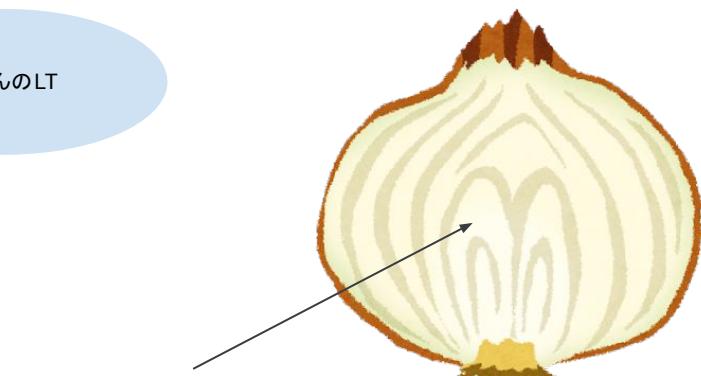
(IT 技術者) 内的キャリア・キャリアアンカーの可観測性

主觀でなりたつ、キャリアアンカー・内的キャリアをどうやって自己開示できるか？

技術者ならではの <観測> できるお題を挙げてみよう

- 得意な技術領域
- 作った、ふれたソフトウェア / いじってるハードウェア
- コンtributorしてたプロジェクト
- 参加してるコミュニティ
- よくみてるWeb サイト
- 大切に思っている技術書 (専門書)
- 影響を受けた技術者
- ... etc

@toshanen さんの LT



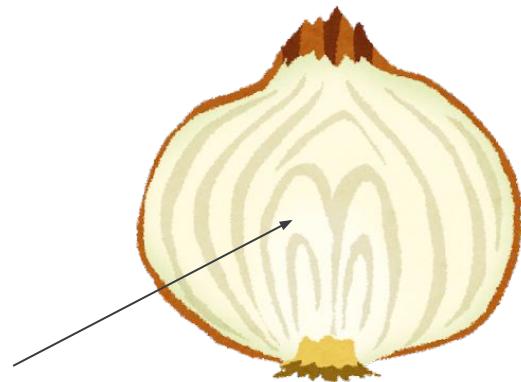
内的キャリア

(IT 技術者) 内的キャリア・キャリアアンカーの可観測性

主觀でなりたつ、キャリアアンカー・内的キャリアをどうやって他人に語りうるか？

スコープを狭め、ポイントをおさえて語れるよう <観測> できるお題を挙げてみよう

- 得意な技術領域
- 作った、ふれたソフトウェア / いじってるハードウェア
- コントリビュートしてるプロジェクト
- 参加してるコミュニティ
- よくみてるWeb サイト
- 大切に思っている技術書 (専門書) 🤲
- 影響を受けた技術者
- ... etc



内的キャリア

『内的キャリアと自分の中で大切に思っている専門書』



2021-09-30

内的キャリアと自分の中で大切に思っている専門書

技術・キャリアに関する文章です

追記

内容を省みて 技術書 から 専門書 に訂正した。

イントロ

先だってペバボ社内の「CTOが訊く」という企画で、あんちばくん ([id:antipop](#)) とzoom 対談する機会があった。「CTOが訊く」はペバボ社の技術職のメンバーに対談を回していく企画で^(*)、事

イベントに先立って書いたエントリです。

「誰かに勧めたい」「役に立つ」ではなく、あくまで「自分の中で大切に思っている」という制約でリストするのがポイントだろう

左のエントリでリストした専門書



私が Perl を学び始めたきっかけの本、低レイヤ取り組むきっかけの本、デバッグ・トラブルシューティングの本から派生して、組織のインシデント対応を取り扱った本などが列挙された。
[\[Serverspec\]について](#)は、後述する

@ryuichi_1208 さん (gurasan)

地方エンジニアの学習日記
興味ある技術の細なメモったりを書いてくブログ。たまに日記とガジェット紹介。

2021-10-23

「自分の中で大切に思ってる専門書」ってなんだろうって思つたので自分も書いてみた

hiboma.hatenadiary.jp

内的キャリアと自分で大切に思っている専門書

技術、キャリアに関する書き手。日記内容を読みて技術書から専門書に注目した。イントロduct yourself(自己紹介)の「CTOが訊く」という企画で、あんちばくん(@antipop)とzoom対話を…

2021-09-30 12:03 * 10 読書記録

hiboma.hatenadiary.jp

を読んでいて「自分で大切に思ってる専門書」ってなんだろうって思ったので自分も書いてみた。とりあえず5冊を選んでみた。

初めてのPerl
インフラエンジニアの教科書
UNIXという生き物
サーバインフラを支える技術

最近 ペパボに入ってくれた同僚からのアンサー



@udzura さん

ローファイ日記

出てくるコード片、ぼくが書いたものは断りがない場合 MIT License としています <http://udzura.mit-license.org/>

2021-10-15

自分で大切に思ってる本の話

Profile

うづら (id:udzura)
ほんとは読書記録のはずだった /
書いてことの責任は取るが、書い
てこことの永続性は担保しない場
所
+ 読書記録 238

このブログについて

hiboma.hatenadiary.jp

内的キャリアと自分で大切に思っている専門書

技術、キャリアに関する書き手。日記内容を読みて技術書から専門書に注目した。イントロduct yourself(自己紹介)の「CTOが訊く」という企画で、あんちばくん(@antipop)とzoom対話を…

2021-09-30 12:03 * 10 読書記録

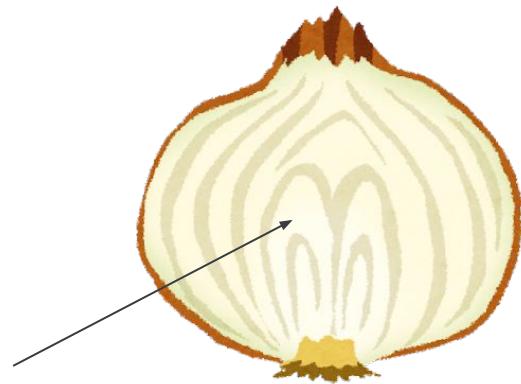
Infra Study シリーズでもおなじみの@udzura さんからのアンサー



(IT 技術者の) 内的キャリア/キャリアアンカーの可観測性

次は、より深い内省・自己開示・内省が必要なお題です

- 得意な技術領域
- 作った、ふれたソフトウェア / いじってるハードウェア
- コントリビュートしてるプロジェクト
- 参加してるコミュニティ
- よくみてるWeb サイト
- 大切に思っている技術書 (専門書)
- 影響を受けた技術者 ➡
- ... etc



内的キャリア

コロナ禍で自分の能動的行動が失われて気付いたこと

読者になる

人間とウェブの未来

「ウェブの歴史は人類の歴史の繰り返し」という観点から色々勉強しています。

コロナ禍で自分の能動的行動が失われて気付いたこと

思った事

2021-08-18

今週は夏休みなのですが、久々にコロナ禍の1年半を通して自分が色々考えたことをつらつらと書いてみようと思います。

コロナ禍になって最初の半年ぐらい、2020年の夏頃まではある程度これまで通り自分の研究を続けたり、毎日研究のコードを書いたりできていました。もちろん、自分は研究者であるので、ある程度裁量がある一方で、自ら能動的に新しい研究を続けることが仕事でもあるからです。その辺りはもう一つのブログを日誌にしているので今見てもよくわかります。

ところがその辺りから、どうもこれまで当たり前にやり続けてきたことに対して手が動かなくなってきたました。これまで、研究をしたりコードを書くことは楽しくて、何のためにと考える前に、国際会議が次々と開催されたり、国内のアカデミアの活動が波のように押し寄せるので、それに乗り続けられるように自然と行動し続けていました。しかし、コロナ禍でその波がそもそも来なくなってしまいました。まるでぼんやりと座って海岸で海を眺めているような状態です。また、このブログも1年近く更新が滞っていたこともその現状をよく示しています。

プロフィール



matsumotory
(id:matsumoto_r) PRO

研究者と技術者をやっています。
詳しくはリンクの「研究・開発業績ページ」を御覧ください。

[+ 読者になる](#) 711
[@matsumotoryさんをフォロー](#)

このブログについて

注目記事

viを:wqや:q!,あるいはZZ

“ここ10年以上、能動的に動けないことはほとんどなかったのですが、実はその能動性の正体は、自分の周りの人々や環境、コミュニティ、会社、ひいては社会などと、知らず知らずのうちに相互作用によって生み出されているものであり、決して自分が1人で能動的に動けていたわけではないということでした。”

コロナ禍で自分の能動的行動が失われて気付いたこと

思った事

2021-08-18

今週は夏休みなのですが、久々にコロナ禍の1年半を通して自分が色々考えたことをつらつらと書いてみようと思います。

コロナ禍になって最初の半年ぐらい、2020年の夏頃まではある程度これまで通り自分の研究を続けていたり、毎日研究のコードを書いたりしていました。もちろん、自分は研究者があるので、ある程度裁量がある一方で、自ら能動的に新しい研究を続けることが仕事でもあるからです。その辺りはもう一つのブログを別途にしているので今見ててもよくわかります。

ところがその辺りから、どうもこれまで当たり前にやり続けてきたことに対して手が動かなくなってきた。これまで、研究をしたりコードを書くことは楽しくて、何のためにと考える前に、国際会議が次々と開催されたり、国内のアカデミアの活動が波のように押し寄せるので、それに乗り継がれるように自然と行動し続けていました。しかし、コロナ禍でその波がそもそも来なくなってしまった。まるでぼんやりと座って海岸で海を眺めているような状態です。また、このブログも1年近く更新が滞っていたこともその現状をよく示しています。

今思ふとやはり、そういう環境や各種イベント、成果などが、研究やプログラミングのように時には苦しかったり大変な作業を、その後には必ず刺激的でやって良かったと思えることが起こることを体験的に理解しながらやっていたのだと思います。だから、今はその行動に対する動機などを考えることなくやれていたのです。今更ながら、自分は環境に生かされており、僕がよくブログなどで書いている「最終自分のため行動すべき」という点について、真の意味で自分のためには動けていなかったのだと思われました。

そしてコロナ禍が続く中で、徐々に自分が当たり前のようにやってきた活動の後に生じるはずの「やってよかった」と思える体験が来ないだろうと思えるようになってきたのだと思います。それにより、自分が今はできない難しいことだけれど、できるようになればさらに面白く幸せになる、という体験の連鎖が断ち切れられ、これをやったところ自分でやって幸せは来ないかもしれない、心身を削るのがしんどい、と無意識のうちに思うようになったのだと思います。

そうすると、能動的に動こうとする活動が減り、それが減れば減るほどさらに能動的に動こうと思えなくなり、受け身な仕事をするばかりになっていました。それはそれで、能動的に動ける人のサポートをてきて、そこで結果が出れば嬉しいのですが、常に自分はやれていないという気持ちになっていきます。

能動的に動くというのは、少しでも動き出せたらある程度動けるという脳の本質があることは理解しているのですが、その先に何があるかあまりにも制限され、見通しがないと少しだけでも動くというところでも困難であることにも気付きました。全く面白くないゲームを無理にやらないといけないというような感覚に近いかかもしれません。

ここ10年以上、能動的に動けないことはほとんどなかったのですが、実はその能動性の正体は、自分の周りの人々や環境、コミュニティ、会社、ひいては社会などと、知らず知らずのうちに相互作用によって生み出されているものであり、決して自分が1人で能動的に動けていたわけではないということでした。コロナ禍で環境からの作用の機会が明らかに減ったことにより、自分がこれまで能動的だと認識してしてきた行動を起こすための相互作用も減り、その結果、能動的行動がどれくなっていたと理解しました。それを再認識できたのは不幸中の幸いでした。今思うと当たり前のこのようにも思えます。

プロフィール



matsumotory
(id:matsumoto_r) [PRO]

研究者と技術者をやっています。
詳しくはリンクの「研究・開発業績ページ」を御覧ください。

+ 読者になる | 711

Twitter @matsumotoryさんをフォロー

このブログについて

注目記事

viを:wqや:q!、あるいはZZで終了するのではなくどちらが効率的か 345 users

CPU使用率100%のWebサーバをOSのチューニングだけでCPU使用率20%まで改善する 272 users

博士課程の予備審査にいつきました 38 users

コロナ禍で自分の能動的行動が失われて気付いたこと 413 users

Apache httpd 2.4系をバックエンドに置く場合のクラウドアドレスの扱いとハマりどころ 26 users

最新記事

コロナ禍で自分の能動的行動が失われて気付いたこと

プロセスのオーナ情報をTCPアラートヘッダに書き込んだ背景とアプリケーションの補足

新たにオーネルでTCPオプションヘッダに書き込んだ情報をTCPセッション確立時にユーザランドでどう取

松本さんの文章を読んで 周りの人々との<相互作用> を軸としたテーマにしようと決めた



@gosukenator



@matsumotory



@udzura



@pyama86



@mrtc0

ただし、何か条件をつけないと人々を紹介しきれなくなってしまう ...

「Infra Study シリーズに登壇した && ペパボでご縁のあった人・ある人」(*) をスコープとした

1) @yoku0825 さんも「ペパボでご縁があった」と言えなくもないが！

2) みなさんの活躍ぶりについては、過去の Infra Study シリーズの収録動画をご覧になるのがよいでしょう

「影響を受けた」の精緻化

「影響を受けた技術者」とテーマを据えてみたが「影響」をどうモデル・言語化して精緻にできるだろうか？『Effective DevOps』を読んで、メンタリングの側面から考えてみよう

7.5 メンターシップ

- 上位者から会社へのメンタリング
- 上位者同志のメンタリング
- 下位者から上位者へのメンタリング
- 下位者同士のメンタリング

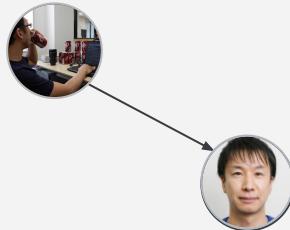


Effective DevOps

4本柱による持続可能な組織文化の育て方

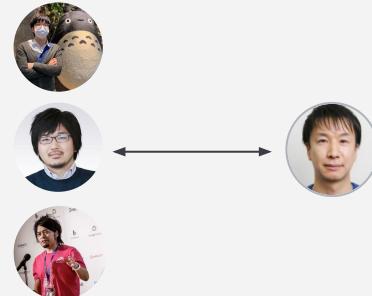
Jennifer Davis, Ryn Daniels 著
吉羽 龍太郎 監訳
長尾 高弘 訳

上位者 から 下位者



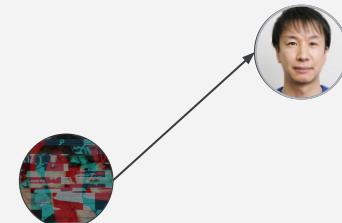
メンタリング

同位者 (*)



ピア・メンタリング

下位者 から 上位者



リバース・メンタリング

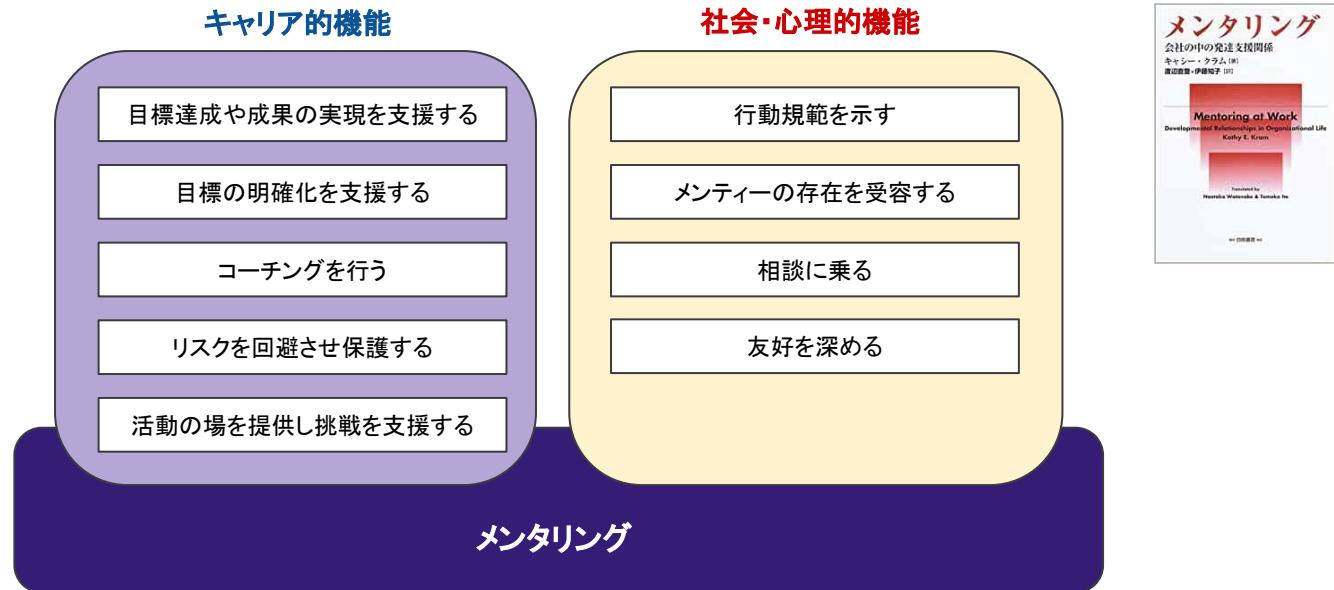
注) 上位/下位という単語は「何をもって上と下なのか？」となる。技術者同士の距離感・世代・経歴・職位・等級で比較した大雑把な立ち位置ぐらいに捉えたい。語弊を生みかねないので、メンタリング用語で置き換えてモデル化した

1) ほんとは、等級だけでみると matsumotory さん、pyama さんと udzura さんは私の「上位」なのではあるが

2) 上位同士/下位同士を同位として集約した

メンタリングの機能はキャリア的機能と社会・心理的機能に分類される

二つの機能を借用することで「影響を受けた」を精緻に言い表せるのではないかと思う



*4) 当事者や組織内で取り決めがあったわけないがメンター・メンティー関係に近しい間柄を「非公式メンタリング」と呼ぶ

引用: <https://xtech.nikkei.com/it/article/COLUMN/20061002/249546/> の図を元にして書いた

キャリア初期 メンタリング関係

@gosukenerator

mizzy さん



キャリア初期: キャリアアンカーの礎を築く

Q. キャリア初期に自身のキャリア形成に影響を与える人物はいましたか

私の場合: Perl を独学の経験のみだった私が、2007年ペパボに入社後(アルバイト)で

mizzy さんに会えたことは幸運の極みだった。公式なメンタリング関係では無かったが

私の<キャリア>は mizzy さんをメンターとして多大なる影響を受けたのは間違いない。

フリーランスから、そして研究職の転身も内的キャリアを大事にする姿勢をみてとる



- UNIX 哲学や Perl の三大美德の話、哲学・規範・古典の教え
- アーキテクトとしての視野感
- 技術コミュニティへの誘い
- 抽象化の手法👉 Serverspec の話に続く

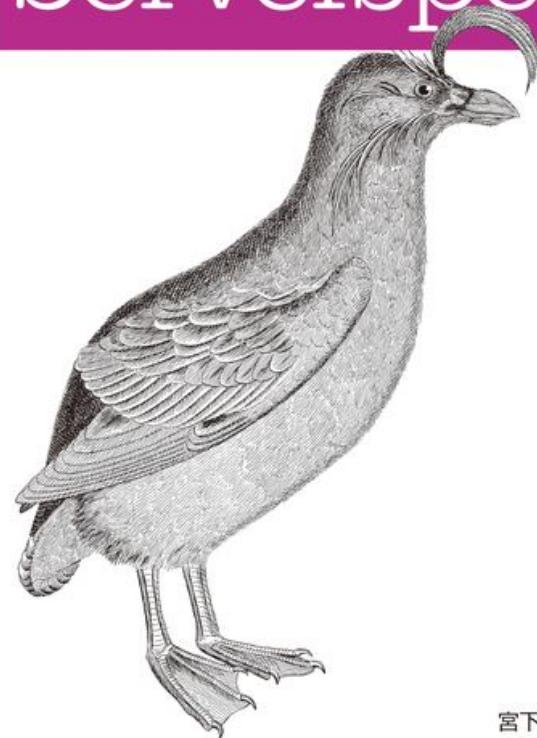
ドクターペッパーの美味しさも教えてもらつただろうか? ドクペ === mizzy さんと刷り込まれてしまった

“また、構築したサーバーを *RSpec* でテストするという発想は筆者オリジナルのものではありません。前職時代に同僚である hiboma 氏が、*LXC* によるコンテナに *Chef* レシピを適用した後に行うテストを *Rspec* で書いていて、それを真似させてもらいました。

… (略) 汎用的に使えるようにブラッシュアップして、*Serverspec* という名前をつけて RubyGems.org で公開しました。それが 2013年 3月 24日です。”

本書の前書きは、私の兄が寄稿した。そういう意味でも大事な本なのだ。

Serverspec



宮下 剛輔 著

Sqale (すけーる)

ペパボ (*) でコンテナ型のホスティングサービスとして提供

- 2012年5月にベータリリース
- 2017年5月にクローズ

Docker もまだ無い時代、コンテナ環境を LXC で動かし chef-solo でユーザ環境ごとのセットアップを行っていた。サービス初期、不安定なコンテナ仕様を rspec でテストしていた

私が、目の問題を解決したいために書いていたテストが、mizzyさんの手によって汎用化・抽象化されて Serverspec が生まれ、世のインフラ技術に影響を与えるほどのプロダクトになりえるとは微塵も想像しなかった。... かような <師の教え> があろうか？

Sqale リリース当時の社名は 株式会社 paperboy&co.



今日はこのまま Sqale の線上で話を展開していきます



Sqale の事例を携えて、2013年 第2回 コンテナ型仮想化の情報交換会@東京 - カーネル／VM探検隊 で発表

× カーネル／VM探検隊



第2回 コンテナ型仮想化の情報交換会@東京

日時：2013/10/05 13:00 to 19:30

参加者：146人

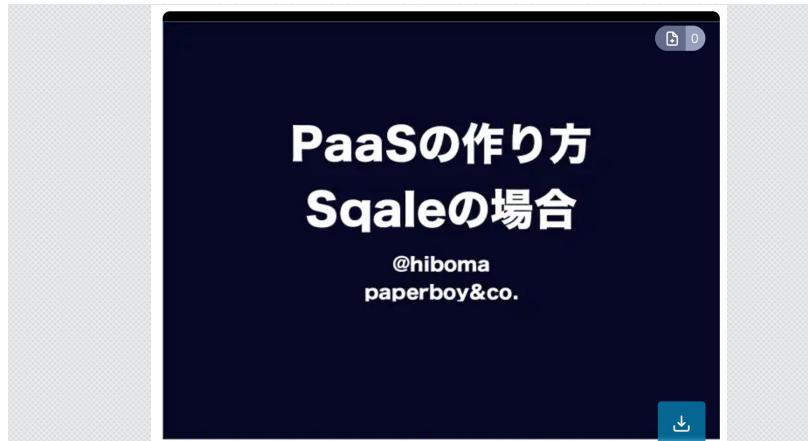
会場：神保町三井ビル 17F 株式会社インターネットイニシアティブ(IU) 大会議室（東京都千代田区神田神保町1-105）

ATND : <http://atnd.org/events/40915>

Twitter : #lxcj

<https://sites.google.com/site/kernelvm/%E9%96%93%E9%80%9A%E3%82%BF%E3%82%A4%E3%82%A8%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%83%89%E3%82%AA%E3%83%83%E3%82%AF%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%89>

私 @hiboma の発表



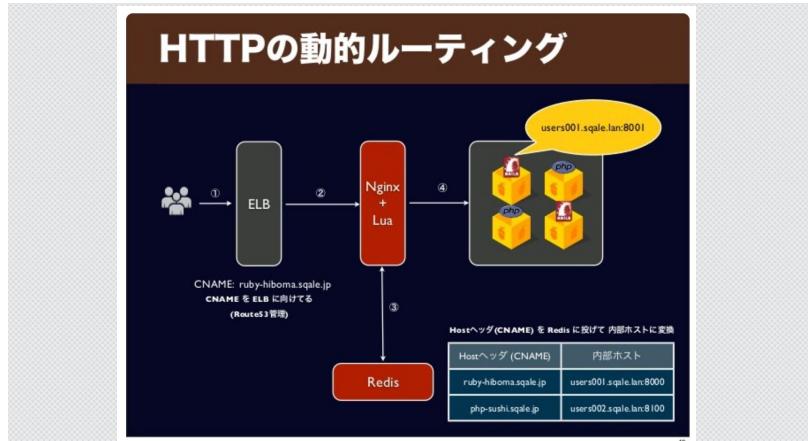
Sqale の内側をできる限り詳細に話した発表です

mizzy さんの発表



当時のカーネルはcgroups でプロセス数の制限ができなかつたのでバッヂをあてて Sqale で fork bomb 対策をした発表です

@hiboma の発表資料 (1)



コンテナ(LXC) 話の他に、OpenResty(lua-nginx-module) を用いて動的に upstream 先を決定するリバースプロキシを導入していた話などをした

@hiboma の発表資料 (2)

バグその2

cgroupsについて コンピュータ技術情報共有サイト(a版) 新しい会員を作成

matsumoto_r May 14 管理人
hibomaさんのつぶやきで知ったんですけど、これは致命的ですねえ。

cgroup の cpuset.cpus を一個にして cpu.cfs_quota_us の値をデフォルト値から変えた状態で OOM Killer 呼びだされると時たま cgroup に属するプロセスが全部止まるというバグがあるばです

cpusを指定するようなコンテナはどう対応するのだろう？

3.10-rc1 まで上げたけど直ってなかった

hiboma May 14
言及ありがとうございます。症状は <http://comments.gmane.org/gmane.linux.kernel/mmci/17099> に書かれているものによく似ています。

再現するための設定、方法まとめたら再度ここに書き込みますね。

がいいね！しました。

Sqale の開発時にカーネルのバグを踏んで matsumotory さんに相談をしていた話も載せていました(すっかり忘れていた)。

キャリア中期 ピア・メンタリング

@matsumotory

まつもとりーさん



第二回コンテナ型仮想化の情報交換会は、まつもとさんも発表されていた。オフラインで初対面した

libcgroupとmrubyを使った
Webサーバのリソース制御アーキテクチャ

松本 亮介

@matsumotory

キャリア中期：キャリアアンカーを揺さぶる人

Q. 自分を鼓舞する同世代の技術者はいるか？

matsumotory さんに「影響を受けている」人は数えきれないくらいいるそうですね

コンテナ型仮想化の情報交換下位の懇親会では、ホスティング事業やApache モジュール cgroup, Linux カーネルなど、阿吽の呼吸で話ができる人に出会えた興奮を思い出します mod_mruby から ngx_mruby 、そして研究領域でも成果をだしていく姿をペパボと一緒にした時期にみていた(今もですね!)

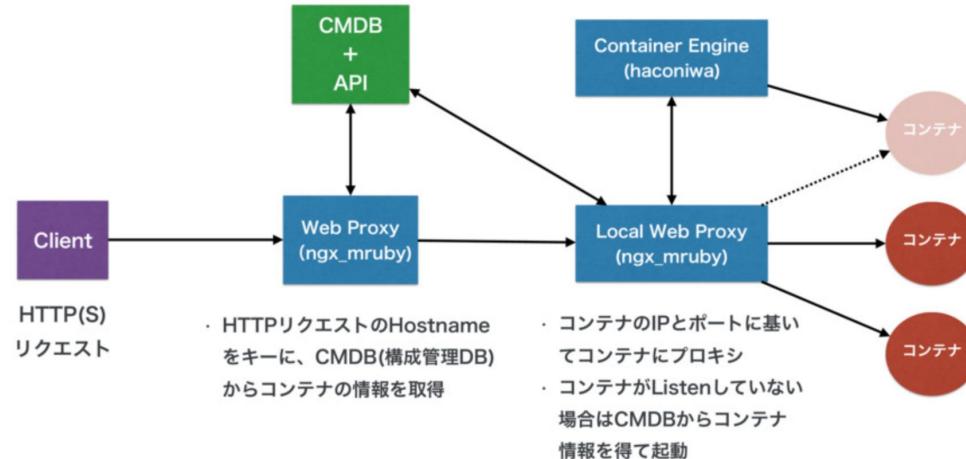
一方で、自分が得意だと思っていた技術領域で、次元違いの能力をもつ存在に会うことは 内的キャリア・キャリア・アンカーを揺さぶられる体験 <畏れ>・<恐れ> でもある



Sqale の線上で話すと、matsumotory さんの FastContainer アーキテクチャの提唱は切ってもきれない話でしょう

先端のコンテナ技術からホスティング業のおなじみの技術(FastCGI / CGI のまで!)を取り込み結実したアーキテクチャとも見えています

HTTP FastContainerのフロー



@udzura

うづらさん





Sqale はビジネス的な実りを残すことはできなかったが

Haconiwa とロリポップ！マネージドクラウドへと転生を遂げる。キーパーソンは@udzura さん



落ちないから、 大規模サイトも続々と移行中

マネージドクラウドがインフラ管理・コスト管理をし、制作会社や
エンジニアの負担を減らします。環境構築もワンボタンで完了！

まずは無料でお試し10日間



2021/08/02 夏季期間中のサポート対応時間のご案内

様々な用途でマネージドクラウドが採用されています。

人気ビジネス番組への出演時も機会損失が無く
て良かったです

七洋製作所様

「テレビ出演というビジネスチャンスであり、絶対にサーバ
ーダウンは避けたい状況ですが、マネクラはしっかり踏み



内的キャリア・キャリアアンカーを揺さぶる人

Q. 自分を鼓舞する同世代の技術者はいるか？

ロリポップ！マネージドクラウドは FastContainer アーキテクチャと並んでHaconiwa (mruby製) がサービスのコアになる

Hacnoniwa (mruby 製) を作り出しコンテナの第一人者としての活躍はみなさんご存知でしょう

各種 OSS プロダクトを生み出しつつ、技術領域にのめり込み自らを<進化>させていく姿勢に鼓舞されている。あるいは、最近はLinux の低レイヤー(eBPF)への熱中ぶりでいうと<深化>だろうかな? Ruby, mruby, C, Rust とアンカーも強い



彼もまた私の内的キャリア・キャリア・アンカーを揺さぶる人なのである

Sqale では LXC だけでなんとかコンテナ環境を作ろうとして歪な構成になっていたのが事実だ

Haconiwa は洗練されたアプローチで実現しそして世の評価も受ける姿をみて自分のエンジニアリングを深く考え直したくなつた



注) 右は @k1LoW さん。k1LoW さんの話もいつかしたいなあ～

出典: <http://www.digitalfukuoka.jp/topics/86?locale=ja>

@pyama86

ぴーやまさん





Kazuhiko Yamashita

pyama86

0 Followings 1 Followers 1 Stars

<p>突然のグループ会議在宅勤務開始!!における働き方を変革する技術や仕組み ～広島県産の社職をふんだんに利用した地サブレ編～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc. 2020.05.31 Info Study Material #5</p> <p>pyama86 ★ 4 750</p>	<p>企業に必要とされているインフラ技術とこれから ～正直、何が必要とされるんでしょうね？～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc. 2020.05.31 Info Study Material #5</p> <p>pyama86 ★ 12 7.7k</p>	<p>「ペバボっぽい」エンジニアカルチャーを創る言葉と仕組み ～テラスハウスの次の配分は12/9ですか～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc.</p> <p>pyama86 ★ 18 4.5k</p>	<p>俺の中で今Kafkaが完全に熱い ～熱い！！！熱すぎる！！！いやほんとにアツい！！！</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc. 2019.03.29 ホスピタリティカジュアル#5</p> <p>pyama86 ★ 2 1.3k</p>	<p>Wazuhを利用した大統一サーバ監査基盤 ～新春の地中海があがったPerlを添えて～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc. 2019.01.26 YAPC.Tokyo 2019</p> <p>pyama86 ★ 3 3.1k</p>	<p>学び続ける努力 ～新年の風漁のスマヨソースと共に～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc. 2019.01.18 エンジニア成長のカギとなるアートブートcamp講義</p> <p>pyama86 ★ 17 6.9k</p>
<p>CloudNative Buildpacksで創る、CloudNativeな開発体験 ～冬の差異化された、いきいきとしたソニーに春風を吹えて～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc. 2019.01.25 CloudNative Buildpacks #5</p> <p>pyama86 ★ 9 11k</p>	<p>CN Buildpacksが作る未来 ～夏の日の road to 2002～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc. 2019.01.21 CN Buildpacks #5</p> <p>pyama86 ★ 2 2.1k</p>	<p>クラウドネイティブを創る技術 ～世界で流れられた技術のオーソンクリームを添えて～</p> <p>pyama86</p> <p>pyama86 ★ 3 1.3k</p>	<p>nginx_mruby v2におけるノンブロッキングなmruby実行の実装詳細 ～あれっ？ 作者は…あれっ？ あれっ？ ？？編～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc. 2018.11.20 RubyWorld Conference 2018</p> <p>pyama86 ★ 1 410</p>	<p>Plugin STNS v2 朝！！！1 ～寝最早的の恋愛を似てる～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc. 2018/10/4 fukuoka.guru</p> <p>pyama86 ★ 1 890</p>	<p>STNS of the year ～秋刀魚の肝臓油漬けを見尻川の辺りで嗜みた～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc. 2018/09/20 八戸インクアドバスト開催地会場 Vol.008</p> <p>pyama86 ★ 1 210</p>
<p>Linux middleware development by Go ～世界で流れられた技術の内側を添えて～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc.</p> <p>pyama86 ★ 1 2.1k</p>	<p>CloudNative Buildpacks ～lead to 2002～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc.</p> <p>pyama86 ★ 0 140</p>	<p>Pepabo de Ruby ～俺にとって、鹿児島はいつも泣いていた編～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc. 2019.03.29 K-Ruby#22</p> <p>pyama86 ★ 0 160</p>	<p>高集積コンテナホスティングにおけるボトルネックとその解法 ～持て余してあるフルストップーション。You've got an easy day～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc. 2018.09.08 buildseries.tokyo 2018</p> <p>pyama86 ★ 5 5.1k</p>	<p>運用におけるシェルの役割とそのあり方を考える ～Shellとさりげなくおもひやねにかく好きなんです～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc. 2018.07.27 Jap-Tech 2018</p> <p>pyama86 ★ 17 6.2k</p>	<p>ペバボにおけるDevOpsの変遷 ～夏の京都マント署し、ほんとに暑いからあら～</p> <p>pyama86 / GMO Pepabo, Inc. 2018.06.23 ~GMOペバボ</p> <p>pyama86 ★ 0 2.2k</p>

内的キャリア・キャリアアンカーを揺さぶる人

Q. 自分を鼓舞する同世代の技術者はいるか？

圧倒的な速度とアイディアと、確かな技術選定で <課題> をなぎ倒す人

インフラ技術に止まらず、レイヤを縦横にわたって活躍する姿を見ています。

キャリアアンカーの転換・再構築が圧倒的に速い人物なのだろう

Web サービスをやってると、技術課題は永遠に絶えることがないので、彼の姿勢は圧倒的正しい

そう、彼もまた私の内的キャリア・キャリア・アンカーを揺さぶる人なのである



pyamaさんのロリポップ! マネージドクラウドのトラブルシューティング事例

GMOペパボ

高集積コンテナホスティングにおけるボトルネックとその解法

~持て余してたフラストレーション、You've got an easy day~

@pyama86 / GMO Pepabo, Inc.
2018.09.08 builderscon tokyo 2018

sys_openが支配的

```
$ perf record --call-graph dwarf -- ip netns add example
$ perf report -g -G --stdio
  65.10%  0.21% ip  [kernel.kallsyms]  [k] entry_SYSCALL_64_fastpath
  |--entry_SYSCALL_64_fastpath
  |  |-26.54%-- sys_open
  |  |  |-26.44%-- do_sys_open
  |  |  |  |-24.97%-- do_filp_open
  |  |  |  |  |-24.87%-- path_openat
```

私は、Linux カーネルのトラブルシューティング対応は、組織内では自分が得意だとしてあぐらをかいていた。
pyamaさんは難しい<課題>をばんばんやつけていく中で、いつのまにか軽く凌駕していたのである。

得意な技術領域が先にあるのではなく、自らにチャレンジングな課題をすべて、技術領域を拡大して解決して強くなるサイヤ人の
ようだ

ピア関係からの「強烈な影響」

強力な Buddy (相棒) でありながらも、キャリアアンカーに揺さぶりをかけてくる <競争> 相手でもある



私は、己のキャリアンカーを守ることに固執し、インフラ技術の変化も華麗に乗りこなしキャリアドリフトする
彼らと、どう対峙したらいいのか分からず、錯綜・混乱した時期もあったことも白状しよう。
変化を拒む、自己保身的な態度からは、よいピア・メンタリング関係は築けない

ロリポップ！マネージドクラウドの話：私のトラブルシュート事例

ペパボテックブログ
Technology, Engineering, Creative, and Human-Centered Design

2020-06-11
ペパボ トラブルシート伝 - node プロセスの general protection fault を追う -
abort(3) の意外な実装

トラブルシーティング

ツイート いいね! シェア ブックマーク Pocket

セキュリティ対策室の伊藤洋也 @hiboma です。

業務中に、Haconiwa コンテナで動くとある node プロセスが **general protection fault** (一般保護違反) を起こしてdmesg にログを残す現象を調べ、問題解決にあたっていました。その際の筋路をまとめおして記したエントリになります。

エントリの概要

本エントリでは、以下のような内容を扱います。

最新記事

- 2021-10-26 わかりやすさを作るAI
- 2021-10-18 AndroidにおけるPaging 3 を用いたページングの導入
- 2021-10-18 ElixirConf US 2021登壇報告: IoTシステムの開発における課題の解決を目指む Elixir製のフレームワークPratipadについて発表しました
- 2021-10-05 視覚連想でより意味を伝えるデザイン～mimeの事例～
- 2021-10-04 新卒エンジニア研修2021を受けました(前半)
- 2021-09-22 DBモダリングとRSpecのワークショッ

cgroup と sysfs ファイル
トラブルシーティング事例から cgroup を深追いする

GMOペパボ 伊藤洋也
2020/10/17 第12回 コンテナ技術の情報交換会@オンライン

1

私が、ロリポップ！マネージドクラウドのトラブルシューティングとして公開・発表したエントリです。

コンテナで異常停止するプロセスの調査とcgorup / sysfs ファイルがリークする、なんとか解決できた事例である。

自分はどちらかというと<課題>よりも <問題> 指向なところがあって、reactive に対応しがちである proactive に<課題>をみつけて自己をドライブしていくのがよいキャリアドリフトなのではないかと改めて思う

URL: [ペパボテックブログ - トラブルシューティング に関する記事一覧](#)

最近のキャリアと リバース・メンタリング

@mrtc0

もりたこ



@mrtc0 の顔がグリッチして見えないので、セキュリティ対策室の様子から



最近のキャリア: メンターにまわる体験

Q. 下の世代の技術者から追い上げを感じたことはないか?

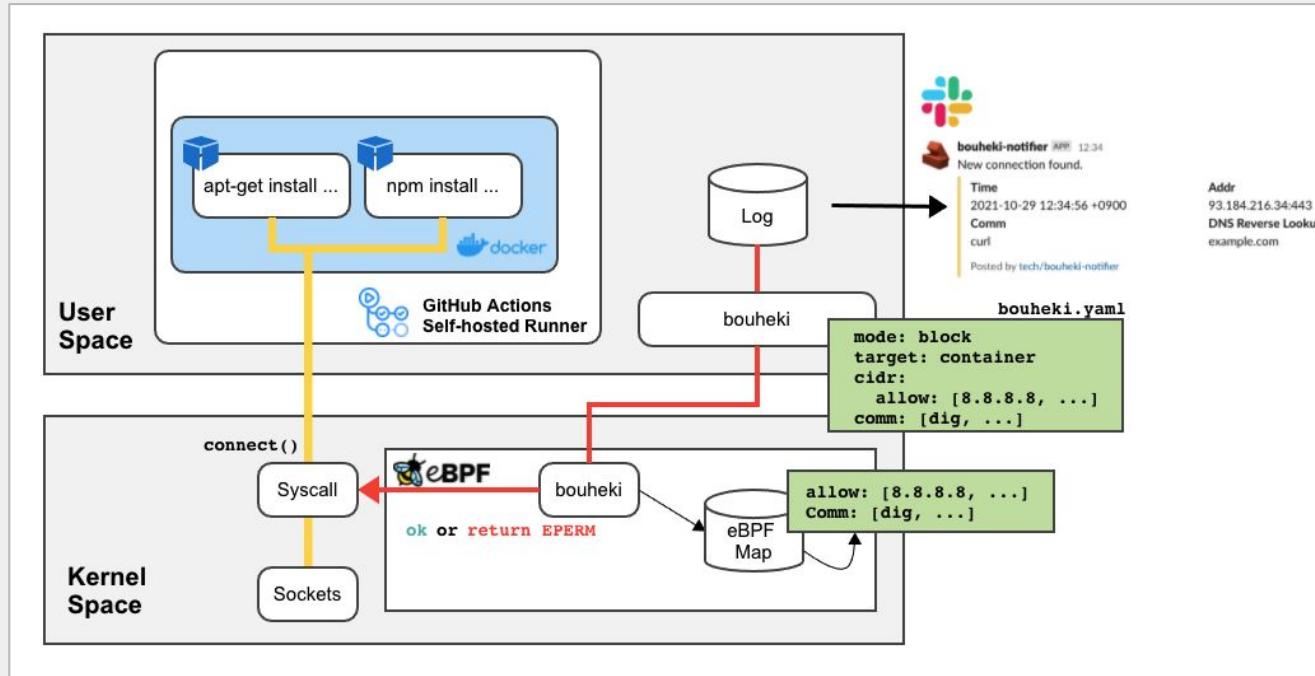
@mrtc0 はセキュリティ対策室での後輩でもあり、チームの相棒でもあり、下から追いかけてくる存在もある。私がメンターの立場であるのだが、セキュリティに関しては、逆に教えを乞うている リバースメンタリングされている

得意なWeb セキュリティからkubernetes, Linux Kernel (eBPF)などのレイヤでも課題を倒してもらっている。コンテナ技術が、あたりまえに存在していて、難なく使いこなせるコンテナネイティブな世という意味で、Sqale の線上で語りうる話なのだろう

かのような人物と向きあうことで、やはり、**内的キャリア・キャリアアンカー**は揺さぶられる



@mrtc0 が最近作った bouheki 「KSRI (LSM + eBPF)を用いて CI/CD 環境で悪意のあるコードの外部通信を検知・ブロックする仕組み
コンテナ、eBPF、CI/CD とトレンドの技術領域でのセキュリティ対策でもコミットをぱりぱり出してくれている



1) KSRI ... Kernel Runtime Security Instrumentation

2) LSM ... Linux Security Module

来月のCloudNative Days Tokyo 2021 では 左: @hiboma 右: @mrtc0 の発表があります



私は、最近は障害やセキュリティインシデントの対応をslack bot を使って自動化で支援するという取り組みを発表する
セキュリティ対策室の中で、自分のキャリアアンカーを転換できた事例にもなっているのでひ聴いて欲しい

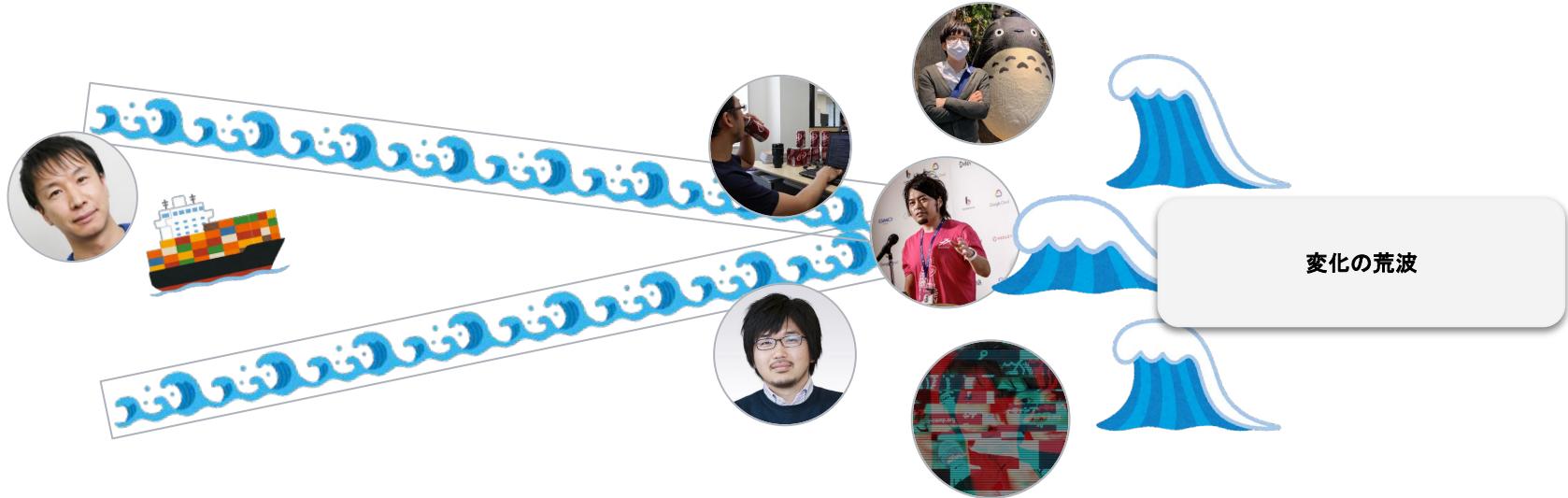
対外的なアウトプットは@mrtc0 の方が積極的で、私も尻を叩かれるような気分で、発表にトライしたのが本音

補足: GMOペパボ からは @pyama86 さんと @5st72くんも発表します!

変化に立ち向かっているのは、みな同じだろう

インフラ技術の変化が優れた技術者によって内的キャリア・キャリアドリフト

彼らもまた変化の荒波でドリフトしていて、私はその航跡波(引き波)に影響を受けているのだろう



まとめ

今日のお話のリフレイン

COVID-19 の話から入り、キャリア・メンタリングの用語を借用して構成した

- キャリアアンカー
- キャリアドリフト
- 外的キャリア / 内的キャリア
- メンタリング, ピアメンタリング, リバースメンタリング



「大切にしている技術書」や「影響を受けた技術者」をプロキシして、私のキャリアアンカー・内的キャリアを
かいつまんだ。Sqale を端緒にして、コンテナ技術で人々の話を繋いで構成した。

このスライドは、私の過去の話から教訓を得て欲しいというスライドでない。

技術を生業とする職業には、その職業ならではの内省方法があるだろうという手法提案なのだ

キャリアやメンタリングの知識は、30代前半にマネジメントや研修に興味をもちインプットしたものだ
結局、いまはマネジメントの職位は志さず、技術専門の職位にいるのだが、今回の話で過去のキャリア・ドリフトを消化した思いだ

← ツイート

 Kazuho Oku
@kazuho ...

若さを維持するんじゃなくて、年寄りになってできる
ことが増えたらいいな、と思う。エンジニアなんだから、
そういうこと自分でできるんじゃないかな

午前10:59 · 2021年9月30日 · Twitter Web App

4 件のリツイート 1 件の引用ツイート 60 件のいいね

💬 ↪ ❤️ ⬆️

実は、本スライドのような発表手法については「キャリアキーノート」という取り組みがすでにある。かつての同僚の奥村くんが 2016 年に提案してくれた。今日の話はキャリアキーノートを縮小版で **rebuild** したものだ

追記: Career Story がより一般的な呼称であるようです

blog: takahiro okumura

キャリアキーノートとはなにか

20 Jun 2016 #career

昨年、勤務先の新卒研修で「キャリアキーノート」という取り組みを始めた。これは「先輩の個人史(キャリア)を紐解いてもらう中で、その根底に一貫して流れる基本的な考え方(キーノート)を学ぶ場」であり、先輩社員の自己紹介を兼ねた場として設計した。

このアイデアは、YAPC::Asia Tokyo のキーノート、なかでも @mizzy さんの「How Perl Changed My Life」や @typester さんの「エンジニアとして生きる」を原型とし、エドガー・H・シャイン著『キャリア・アンカー』の考えに目的を強化されたものである。



出典 : <https://blog.hifumi.info/2016/06/20/career-keynote/>

“キャリアキーノート”

“キャリアキーノートは語る側の挑戦である” - takahiro okumura

Thank You!

GMOペパボ

発表を見送ったスライド

私 @hiboma



「師匠・弟子やメンター・メンティーというという関係を互いに承認して結んでないが、模範だったり学びを得ている関係って何ですかね？」

CTO 栗林健太郎 @kentaro (antipop)



「私叔(ししゅく)って語があるよね」

キャリアやメンタリングの知識は、30代前半にマネジメントや研修に興味をもちインプットしたものだ
結局、いまはマネジメントの職位は志さず、技術専門の職位にいるのだが、今回の話で過去のキャリア・ドリフトを消化した思いだ
しかし、今後のキャリアをどうしようか何をやりたいのか?などは実はまだよく分からずいる

← ツイート

 Kazuho Oku
@kazuho ...

若さを維持するんじゃなくて、年寄りになってできる
ことが増えたらいいな、と思う。エンジニアなんだから、
そういうこと自分でできるんじゃないかな

午前10:59 · 2021年9月30日 · Twitter Web App

4 件のリツイート 1 件の引用ツイート 60 件のいいね

💬 ↪ ❤️ ⬆️

“ 私叔(ししゅく)”

敬慕する人に直接教えを受けることはできないが、ひそかに尊敬し、模範として学ぶこと。教えを受けたことはないが、尊敬する人をひそかに師と仰ぐこと。

先の人たちからは 直接教えを受けていたこともあったので「私淑」とは、やや、違うかもしれない
twitter や GitHub 、ブログ等のメディアで、著名な技術者を一方的にフォローしている関係が近いか ？